



令和5年 1月 12日
発行者 横浜市立篠原中学校
校長 濱崎 利司

1月号

遅れ馳せ乍ら“年始・年頭の御挨拶”

あらためまして、今年もよろしくお祈いします。干支は辰、架空の生き物、伝説上の龍のように天高く飛翔できる年となればと思います。

しかしながら、世情では元旦の石川県・能登半島を中心とする地震による被害によって亡くなった方々と2日の東京都・羽田空港での航空機事故による犠牲となった方々がいます。亡くなられた方々へ哀悼の意を表すとともに、その方々の分も強く逞しく、生きていくことを誓い、また、一日も早い被災地の復興を祈りたいと思います。

さて、新年の御挨拶と言い乍ら、年末の新聞記事に「国内最大級の工場新設・中学全員給食目指す横浜市」という見出しがありました。ご存じかと思いますが、令和8（2026）年度に横浜市立中学校は給食の全員実施を予定しています。4月入学の新生が2年後、3年生となった時に始まる「全員給食」。いよいよ待ったなし、といったところです。

よって、その調理と配送業務を委託する事業者を公表しました。金沢区臨海部に一大給食工場を新設し、また、既存の工場などを活用して1日に合計約8万1千食を用意するそうです。アレルギー対応の調理も業者が担当し、「温かさ」にも拘り、汁物は保温性食缶で各校に配送する、とのこと。既に“推進校”として、いくつかの学校が「全員給食」に取り組んでいます。これには、生徒全員だけではなく教職員も全員が喫食しています。横浜市立中学校の教職員は皆、仕事として給食対応したことがありません。つまり、“ノウハウ”がない。そこは、小学校の校長先生をはじめ先生方に教えを請い、安全・安心な給食を目指したいと思います。

よろしく、小学校の先生方！いろいろと教えてください…。

2学年キャリア学習を終えて

12月18日(月)の総合的な学習な時間で、体育館にて「創作料理メゾン HANZOYA」の加藤英二さんを再度お迎えして、オリジナルパンの開発学習でクラス代表となった班のプレゼンテーションの講評をいただきました。また、商品開発についての生徒からの質問についてお話いただきました。



【振り返り「学習を終えて、『働くこと』とは何か」より】

働くことで、間接的にでも「幸せな気持ちになる人がいる」と思います。その人たちの事を考えて仕事をしたり、今回であればパンのデザインを考えたりすることが大切だと思うので、「『働くこと』とは誰かを幸せにすることだ」と思いました。

ダンス発表会

11月27日(月)の2~4時間目に2学年と個別支援級で、ダンス授業の集大成である発表会が行われました。プロダンサーの方々を講師として招いての授業に生徒たちは大いに刺激を受けて、目を輝かせながら課題のダンスに取り組んでいました。各グループで話し合いを重ね、立ち位置や移動方法、ポーズなどを工夫し、本番はどのグループも素晴らしい発表を見せてくれました。また、この日は公開授業ということで、練習の成果を保護者の皆様にも披露することができました。



音楽交流会

12月16日(土)体育館にて、第20回音楽交流会が行われました。篠原・岸根すこやかサークルが主催となる本会は、4年ぶりに篠原西小学校、岸根高等学校、鶴見支援学校岸根分教室、マーマしのはら保育園、しのはら幼稚園が揃って、合唱や合奏を披露しました。特に、各団体が練習を重ね、力を合わせて行った全体合唱では、素晴らしいハーモニーを奏でました。参加した保護者・地域の方々も心地よい時間を過ごしていました。



フラワーサークル

今年も学校はたくさんのきれいな花に囲まれ、子どもたちは生活をしています。この花はボランティアで活動してくださっている「フラワーサークル」の皆様のおかげです。いつも本当にありがとうございます。ボランティアは年間を通じて募集しておりますので、ご希望がありましたら学校までご連絡ください。



※フラワーサークルは、しのはら学校支援地域本部の環境整備支援の一環の活動です。